

## 知的障害者ガイドヘルパー養成研修について

国分寺障害者団体連絡協議会理事  
国分寺市移動支援連絡会事務局長  
国分寺市手をつなぐ親の会副理事長  
柴田洋弥

### ○国分寺市の移動支援事情

国分寺市は、知的障害者の地域生活希望が多く、施設入所者数の2倍以上のグループホーム利用者数となっており、移動支援利用の希望が多い。

また他市では、都指定養成研修修了をガイドヘルパー（移動支援ヘルパー）の資格としているが、国分寺市では資格を不問としているため、今までは学生をヘルパーとして採用する傾向にあった。

しかし近年、障害福祉全般に従事者の確保が困難となって、ガイドヘルパーの不足が常態化していた。

### ○移動支援連絡会設立

平成30年、移動支援を希望してもヘルパー不足で利用できない現状のため、国分寺市手をつなぐ親の会が呼び掛け、国分寺市移動支援事業の受託事業所とともに国分寺市移動支援連絡会を設立。移動支援を使いやすくして知的障害のある人の社会参加と余暇活動を促進することを目的とした。

### ○知的障害者ガイドヘルパー養成研修の実施

知的障害者ガイドヘルパー拡充のため、養成研修を開催した。（社福）けやきの社が東京都の指定を受け、法人格を持たない当連絡会が企画・運営に協力する形で実施した。令和元年度～4年度に8回の開催を計画・準備したが、コロナ感染拡大のため4回を中止し、4回開催した。

- ①令和元年6月講座 定員25名、修了25名、ヘルパー登録10名
- ②令和2年3月講座 直前中止
- ③令和2年7月講座 定員35名、修了29名、ヘルパー登録12名
- ④令和2年9月講座 定員40名、修了34名、ヘルパー登録12名
- ⑤令和3年2月講座 直前中止
- ⑥令和3年6月講座 定員30名、修了26名、ヘルパー登録14名
- ⑦令和3年9月講座 募集中に中止
- ⑧令和4年2月講座 募集前に中止

また、研修の講師は連絡会加盟団体より派遣。連絡会会費（年12000円）、国分寺障害者団体連絡協議会より毎年5万円の協賛金、親の会の募金等で、受講者負担を軽減（2500円）。

### ○研修の広報（毎回約30名が受講）

- ①市報、市ホームページでの掲載、ぶんバス車内掲示、公民館・地域センター等公的施設でのポスター掲示・チラシ配架。障害福祉関係団体・事業所等にも掲載・配布を依頼。
- ②市内には町内会・自治会が約120町会あるが、約3分の1の町会に依頼して掲示板にポスターを掲示。

③チラシは毎回 8000 枚、ポスターを数百枚作成。

○研修の成果

①3年間の修了者 114 名。内、ヘルパー登録者 48 名。

②修了者の中には、グループホーム・ショートステイ等でパート勤務する人も少なくなく、この養成講座が障害福祉事業の人材確保の一端を担っている状況にある。中には受講した大学生が障害福祉事業法人の正規職員になった事例もあり、養成講座の効果は大きい。

③受講者の中には、「市内のあちこちでこのポスターを見かけ気にかけていたので、今回申し込んだ」という人が少なくない。一般市民の知的障害者理解が進む契機となっている。

○令和4年度より市の委託事業に

①市の委託費を受け、連絡会の経済的負担が軽減した。

②受講者の負担も軽減した（1500 円）。

③講義会場として市の施設を確保できるようになった。

④市の委託事業となり、町内会等への広報がしやすくなった。

⑤市の公共施設へのポスター掲示、チラシ配架が進んだ。

○今年度の概況

9 月研修を実施中。

コロナ再拡大の影響により、今まで多かった 50 歳代前後の受講者が少ない。受講者 17 名。

10 代	20 代	40 代	50 代	60 代	70 代	市内	市外	女	男
1	6	2	4	3	1	14	3	12	5